

製品名: PLAT (12E12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16244**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:1000,IF-P 1:100-1:1000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	PLAT
別名	TPA; T-PA; TPA1; PLAT; Tissue plasminogen activator;
遺伝子 ID	5327.0
SwissProt ID	P00750
免疫原	ヒト TPA 組織プラスミノゲン活性化因子の合成ペプチド

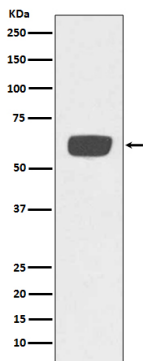
背景

この遺伝子は、組織型プラスミノゲン活性化因子をコードします。これは分泌型セリンプロテアーゼで、プロ酵素プラスミノゲンを線溶酵素プラスミンに変換します。組織型プラスミノゲン活性化因子は一本鎖として合成され、プラスミンによって二本鎖ジスルフィド結合タンパク質に切断されます。この酵素は細胞遊走と組織リモデリングにおいて役割を果たします。豊富に存在するが不活性な酵素前駆体プラスミノゲンを、プラスミノゲン中の単一の Arg-Val 結合を加水分解することでプラスミンに変換します。プラスミンを介したタンパク質分解を制御することで、組織のリモデリングと分解、細胞遊走、その他多くの生理病理学的イベントにおいて重要な役割を果たします。卵母細胞活性化時には、透明帯反応における表層顆粒反応に関与し、多精子受精の阻害に寄与します（類似性による）。

研究分野

補体と凝固カスケード;

画像データ



ヒト血漿溶解物中の PLAT 発現のウェスタンブロット分析。